

外出・外泊の注意事項について感染対策のための注意事項

高齢者は新型コロナウイルス等の感染症における重症化リスクが高く、感染対策を徹底する必要があります。そこで、当施設(グループホームを含みます)におけるご利用者様の外出・外泊(2泊まで)の注意事項を以下にまとめました。よくご理解の上、行動して頂きますよう宜しくお願いいたします。

- 外出・外泊前には、ご家族様(外出・外泊先で接する周囲の方を含みます)は発熱や咳、喉の違和感、体のだるさ、下痢や腹痛など体調の不良がないことをご確認ください。もし症状がある場合は、軽度であっても、外出・外泊のお受入れを見合わせてください。
- ご家族様やその周囲の方が新型コロナウイルス等に感染した場合、一定期間(※)は外出・外泊のお受入れを控えてください。詳しくは、施設職員に、ご相談ください。
- 感染予防のためには「三つの密(密接・密集・密閉)」を避けること、マスクの着用や手洗いなどの基本的な感染予防対策を行うことが大切です。具体的には①～⑤についてしっかりとした対策を取ってください。
  - ① マスクの着用は、個人の判断が基本ですが、ご利用者様と接する場合は、不織布マスクの着用をお願いいたします。不織布マスクは適切に着脱し、鼻マスクや顎マスクにならないよう注意しましょう。
  - ② 浮遊するウイルスからの感染防止に換気がとても有効です。二方向の窓開け等による換気を徹底しましょう。
  - ③ 手洗いや消毒による手指の衛生を心掛けましょう。
  - ④ 多人数での会食や、食事の際のマスクなしでの接近した会話は控えましょう。
  - ⑤ 換気の悪い場所、不特定多数の人がいる混雑した場所、感染流行地域への移動は控えましょう。

※ウイルスの排出期間には個人差がありますが、新型コロナウイルスでは発症2日前から発症後7～10日間、インフルエンザでは発症する1日前から3～7日ほど感染性のウイルスを排出していると言われています。

その他の注意事項

- 制度上外出・外泊も入所中・入居中となります。体調の不良を認め、医療機関への受診が必要と思われる場合等は、当施設(グループホームも含みます)へもご連絡ください。

以上の注意事項を外出・外泊に関係する皆様が守っていただくことで、ご利用者様の心身の健康と安全を守りながら、生活や交流を楽しんでいただけたと思います。ご協力をお願いいたします。